

トマトのタバココナジラミに対する各種防除法の検証と防除モデルの提案

【研究概要】

トマトの生産現場で問題となっているタバココナジラミについて、既存の薬剤が効きにくいバイオタイプQの発生実態及びその薬剤感受性を明らかにするとともに、近年、開発が著しい各種防除法を検証し、それらを組み合わせた防除モデルを構築することを目的に試験を実施した。その中で、今年度は下記の成果が得られた。

- (1) 島しょ部を含む都内各地でコナジラミ類の天敵昆虫である土着タバコカスミカメの発生の有無を調査し、都内の分布状況を明らかにした。
- (2) 調合油乳剤及びグリセリン酢酸脂肪酸エステル乳剤の運用によるタバココナジラミに対する防除効果を確認した。